

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY尼崎校		公表日		2025年 2月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・カリキュラムをする場所フリーのスペースを上手く空間で分けられていると思う。 ・カーペットに引っ掛けてこけそうになる場合があるので、取り外しできるフロアーマットに変えたほうが安全だと思う。	カーペットではなく取り外しができるラグへの変更を検討していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・法で定められている配置数よりも多く職員がいる日がほとんどなので、安心できる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・室内は良いが、入り口にスロープがなく、玄関前に7段の階段があるため、バリアフリーではない部分がある。今後、車いすを使用している方がご利用される際には子どもの場合は抱っこして移動できるが、保護者の方が来校する際には難しい。 ・入口にスロープが無い。 ・その都度気になるところは相談して工夫している。	・スロープの代用品を考える。 ・実際に来所しなくても参加できるようなビデオ通話等を活用する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・夏は暑かったが、エアコン清掃してもらい冷えるようになったので、暑さの悩みは一旦解消できたが、冬はエアコンをフル活用しても極寒なので対策をしたい。 ・絨毯スペースをタイルマットに変えるとより清潔が保てるかもしれない。	・カーペットではなく取り外しができるラグへの変更を検討していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・個室のような静かな環境で個別で関われるスペースはないが、個別でカリキュラムやスキンシップ、話などは行っている。また、支援中にブドウ糖の補給が必要な子どもがいるが、その場合は事務スペースに入って補給してもらっている。 ・モンテッソーリの教具を置くことでよりコーナー環境構成となり個人スペースの確保につながり、集中力が増えると思う。 ・個別の部屋はないので使用は難しい。 ・こどものための個別の部屋はないが、場面に依りて机で囲みを作ったり、事務スペースを利用するなど工夫	・個室は施設の構造上難しいので、面に応じて机で囲ったり、事務スペースを利用するなど工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・毎月の校内MTGで各々の目標設定と振り返りを行っている。 ・話し合う時間をしっかりとっていると思う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・校内の職員で情報共有し、改善に努めている。 ・保護者様と話をする機会をしっかりと設けて全ての職員に周知できている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・何か問題が発生した際には、再発防止のために例えば業務日報にその項目を増やし、みんなで確認するなど意見が出た場合には都度、みんなで話し合い、改善策を講ずるようにしている。 ・定期的に話し合い、話し合う時間をしっかりと設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	・第三者評価は実施していない。	・今後検討していく。	

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・必須の研修以外にも数多くの研修を開催してくれているので、職員の資質向上に大変繋がっていると思う。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	・個別支援計画に5領域は必ず入れているが、それをインターネットの利用などで公表はしていない。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・定期的に1人1人のお子様のアセスメント・モニタリングを実施し、保護者の方から直接聞き取り、ニーズを取り入れて作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・定期的にしつかり話し合う時間を設け、必ず複数の指導員を含め、アセスメント・モニタリングの他にも細かく様子や意見も聞き取り作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・必ず支援計画の原案を供覧し、サービス支援会議にて意見を聞いているので、みんなが共有出来ている。指導員はその計画に沿った支援を行っている。 ・しっかりと話し合う時間を設けています	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・フォーマルなアセスメントは定期的に行っているが、インフォーマルなアセスメントは日々に行われている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・それぞれ具体的な内容が設定されており、支援した内容は共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・活動プログラムについて、これから勉強していく。	お子様に必要なカリキュラムの選定を話し合いながら立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・尼崎校では、活動プログラムについて策定、公表できていない。	楽しく取り組めるように固定化しないようにお子様の状況に合わせて少しアレンジを加えている。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・子ども一人ひとりに合わせて、個別での取り組みと集団での取り組みの双方を組み合わせ合わせて支援計画を作成し、日々の支援ができています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・毎日朝礼を行い、指導員同士で子どもの様子を確認し、その日の支援の内容を相談し合って考えています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・必ず、毎日終礼を行い、必ず振り返りと共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日々の記録はHUGに必ず記入し、振り返りなどに活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・行政や相談支援事業所などとの関係機関との連携は取れており、必要に応じてカンファレンスなどにも参加している。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・園訪問の機会を多く取り入れており、幼稚園・保育園等との連携は取れている。		

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・園訪問の際に情報共有は必ず行い、保護者の方に了承を得た場合には個別支援計画も共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	・保護者の方の希望があれば、小学校などにその子どもの支援内容や特性などの情報共有できるサポートブックを作成している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	・地域のこども支援課などとは連携を図れているが、あくまでも情報共有がメインで助言等は受けていないので、今後機会があれば受けたいと思う。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	・運動会などに呼んでもらったことがある。	・機会があれば検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・保護者との情報共有を密に図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・茶話会を開催し、保護者へのご家庭でもできるアドバイスや情報共有ができる場を提供している。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時や法改定などのタイミングで必ず直接説明している。
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・必ず保護者への聞き取りを行っている。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・必ず行っている。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・個別支援計画更新に伴う面談だけでなく、必要に応じて面談などの機会を設け、その中で必要な助言、支援を行っている。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・茶話会を開催し交流を深められる場を作っている。	
40		こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・子どもや保護者からの相談があればいつでも迅速かつ適切に対応している。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・保護者や園にお子様のご様子をお伝えできるように情報誌(マンスリーレポート)を毎月配布している。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵付きの書庫に個人情報を保管し、そのカギは金庫で保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・1人1人に合わせた伝え方などに配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・地域住民を招待することは行っていないが、今後検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルは全て校玄関の保護者閲覧ファイルにはさんでおり、いつでも閲覧できるようにしている。また、定期的に訓練や委員会を開催している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・適宜BCPを改定し、それに沿って定期的に訓練や話し合いを行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・契約時に必ず確認している。また、定期的に面談時にも聞き取りを行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	・食事の提供は行っていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・定期的に訓練や委員会を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・主に面談時に行っていて、保護者がいつでも閲覧できる位置にマニュアルを置いている。 ・また、情報誌（マンスリーレポート）も用いてご家庭に周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・定期的に話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・定期的な訓練や委員会を開催し、研修にも参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・契約や面談時に詳しく説明を行っている。 ・現在、やむを得ず身体拘束をしている対象児はいない。	